
ちびたりあ×神聖ローマ

NANA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちびたりあ×神聖ローマ

【Nコード】

N7542J

【作者名】

NANA

【あらすじ】

ちびたりあとの別れから数年。

帰ってきた神聖ローマとちびたりあの別れ。

神「やっと…帰ってきた。ここに…」

ここはちびたりあの居る家の前。

神聖ローマは戦争が終わり、やっと帰ってこれたのだ。

神「イタリアー？居るか？？」

イ「だ…だあれ？」

神「お前…忘れたのか…？」

イ「…神聖…ローマ？」

神「ああ。…やっと帰ってこれた。…待たせたな。」

イ「おかえり！神聖ローマ！今、お菓子用意するね。ちょっと待ってて！」

神「悪いが…イタリア。俺には…そんな余裕が残されていないんだ…」

イ「え…どういうこと…？」

神「おれは…昨日死んだんだ。」

イ「え…それじゃあ、あなたは誰なの…？」

神「俺はこの通り神聖ローマさ。」

イ「なんで…?」

神「死んでから…どうしても心残りで…神様に頼んでお前に会いに来た。」

「ごめんな…絶対帰ってくるって約束したのにな。」

イ「…うそでしょ?だって今でも神聖ローマの手は暖かいよ。」

「そんなわけないでしょ?…ねえ、神聖ローマ!」

神聖ローマの体はどんどん薄くなっていく。

イ「行かないで!!僕も神聖ローマの事好きだよ。だから…」

「行かないでえっ!!」

神「イタリア…ありがとう…またどこかで…会おうな。」

そう言うと

イタリアに短い間キスをして

神聖ローマは

消えてしまった。

イ「神聖ローマ…!」

空はどこまでも

碧く

澄み渡っているのです。

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7542j/>

ちびたりあ×神聖ローマ

2010年10月13日11時23分発行